



みみの記念日 3月3日耳の日 6月6日補聴器の日 9月9日人工内耳の日 9月23日手話言語の国際デー

日曜教室 (1月17日) 地震についてのお話

佐賀県では 10 年、20 年おきに大きな地震が予測されます。

この日は奇しくも、31 年前に阪神・淡路大震災が兵庫県南部地域で発生した日でした。福岡県西方沖地震から 20 年、熊本地震から 10 年、そして 10 日前の 1 月 6 日には、島根県東部・鳥取県地方で震度 5 強の地震が発生しました。神崎市、白石町などの佐賀平野では震度 3 の大きな揺れを、新年早々に感じました。

このような時期に、改めて地震について佐賀地方気象台の安藤障害リスクコミュニケーション推進官、小城要配慮対策係員からお話をいただき、42 名の参加者は関心も高く、多くの質疑がありました。

I. 地震はどのように起こるか。

日本列島周辺には、地球の深部のプレートや陸のプレートが動いており、県内の活断層で連動して発生する地震があります。

佐賀県内には大きな断層帯が

- ・ 多久市からみやき町までの 40km の大きな佐賀平野北縁断層帯
- ・ 唐津湾一帯に城山南断層、竹木場断層
- ・ 伊万里湾一帯に国見断層、今福断層
- ・ 有明海沿い鹿島・太良沿岸に西葉断層があります。

このほか博多湾から甘木方面へ警固断層帯、水縄断層帯などが脊振山を取り囲んでいます。

出典：佐賀県地震被害等予測調査業務報告書概要版(平成 25 年度)より



II. 地震が起きるとどうなるか。

液状化現象 福岡県西方沖地震や熊本地震では、震度 5 強が県内で観測されました。地震に起因して、県内では砂粒と間隙水が混ざり合う液状化の危険度が高い地域として、特に嘉瀬川、有明海沿岸、唐津湾沿岸で、地形・地質から広範囲に予測されています。 ※液状化現象のモデル実験装置により、参加者は実際に確認しました。

また県内では、さらに長く大きく揺れる長周期地震動により、高い建物ほど大きく、長く揺れます。



III. 地震への備えをしておきましょう。

福岡県西方沖地震や熊本地震では、震度 5 強が県内でも観測され、水道、電柱、道路、家屋等の損壊が発生しました。このため、日頃から家庭内において、家具類の転倒や下敷きにならないための対策を行い、食料品、水、薬、貴重品等を非常用持ち出し袋・リュックにまとめておくなど、あらかじめ準備しておきましょう。

聴覚障害者サポートセンターでは、スマートフォンによる安否確認システム（あらかじめ登録しておくことが必要）を通じて、本人の安否を簡単な操作で連絡できます。さらに、市町の災害対策本部や手話通訳者への連絡、見回りが可能になります。



政府広報オンラインより

IV. 避難 一海に近い場合の備え一

- ・ 地震により津波が発生する場合があります。できるだけ高い場所に避難しましょう。
- ・ 避難する人や車で交通混雑、車が動かないこともあります。あらかじめ、避難路や避難場所を決めておきましょう。

役に立つ 新シリーズ【40】

オトスキャンとは、非接触で耳型が採れる世界初の3D形状撮影装置です。

通常、耳穴型補聴器(耳穴にすっぽりに入るオーダーメイドの補聴器)を作る時や、耳型耳栓を作る時は粘土状の硬化剤を耳に挿入し、固まらせて耳型を採ります。

しかし、オトスキャンはレーザーを用いて立体的に耳型を撮影できるため、時間が4分の1程に短縮し、圧迫感なく、より正確に作業ができます。

オトスキャンを体験してみましょう

3月7日(土)開催の聴こえのセミナーでは、このオトスキャンの体験ができます。普段は覗くことのない自分の耳の中の様子を画面で確認できますので楽しんで頂けるかと思えます。

現在、オーティコン・シグニア・リサウンドというメーカーでこの装置が導入されています。佐賀県内でも、この装置を導入している店舗があります。気になる方は、センターまでお尋ねください。



聴こえのセミナー

聴こえと脳 & 最新 AI 補聴器のご紹介

オトスキャンの体験ができます。

2026年3月7日(土) 10:00~11:30

佐賀商工ビル7階 大会議室

高橋 礼美 氏 (オーティコン補聴器)



● 巡回聴こえの相談

・3月24日(火) 10:00~15:00 江北町役場

編集後記：そろそろ梅の開花の時期となり、花の便りが待ち遠しいこの頃です。

小野志帆さん合格 手話通訳士試験

第36回手話通訳技能検定試験(手話通訳士試験)合格者が1月30日発表されました。本県からは1名小野志帆さんが合格。今回の合格者数は125名、合格率11.2%。年代別には50代40%、40代37%、30代12%となっています。

自由民主党ネクストさがと意見交換

～ 一般質問手話同時通訳をめぐって ～

佐賀県議会本会議(一般質問)における手話同時通訳をめぐり、1月20日に自由民主党ネクストさがが会派8名との意見交換会が行われました。昨年2月から11月議会までの一般質問では、延べ65時間12分にわたり、手話通訳士延べ20人が対応しました。今後は、知事演告や代表質問についても同時手話通訳の対象とされるよう重ねて要望しました。

生成AI を使いこなそう



AIの進化が著しい今日、ろう者向けに「生成AI を使いこなそう」をテーマとしたICT講座が、1月25日に開催されました。講師は、(株)ローカルメディアラボ代表取締役の牛島清豪さん(当センター運営委員)です。生成AIは「魔法の杖」ではありませんが、最強のパートナーになり得ます。詳細は、みみより3月号に掲載予定です。

インフルエンザに注意

佐賀県内では、インフルエンザの流行発生警報が現在も継続して発令されています。今後ももしばらくは、感染者数の増加や流行の長期化が懸念されます。日常生活においては、外出後や食事前の手洗い、咳やくしゃみをする際の咳エチケットの徹底、室内のこまめな換気など、基本的な感染対策を心がけることが大切です。一人ひとりが予防意識を高め、インフルエンザの感染防止に努めましょう。



佐賀県聴覚障害者サポートセンター

〒840-0826 佐賀市白山二丁目1-12(佐賀商工ビル4階)

TEL: 0952-40-7700 FAX: 0952-40-7705

メールアドレス: info@saga-mimisapo.jp

ホームページアドレス: http://saga-mimisapo.jp/

<開館時間>

9:30 ~ 18:00

<閉館日>

毎週月曜日、祝日、年末年始